

# ミスミグループ

## 2023年3月期 上期決算報告 と今後の取り組み

2022年10月28日  
代表取締役社長  
大野龍隆

### 22年度上期決算の概要

為替レート(対円)	FY21上期 実績	FY22上期 実績
USドル	110.2円	133.5円
ユーロ	131.0円	138.8円
人民元	17.0円	19.8円

## 目次

1. 22年度上期決算の概要	2
2. 22年度通期連結業績見通し	12

### 22年度上期市況と当社の取り組み

#### 当初の見立て

中長期	旧来の自動車・携帯からEV、ロボット、半導体が主役に	---	不変
	グローバルサプライチェーンは各地域ブロック化が進展	---	不変
FY22	自動化需要は中国を始め各地域で中期的にも継続拡大	---	一時的減速
	半導体始め主要部材の供給難は今期後半まで継続	---	想定通り
	ウクライナ情勢、コロナ収束には楽観論の採用は困難	---	中国LD 影響甚大

#### これらの環境下、当社は

中長期	・最大の強み「 <b>グローバル確実短納期</b> 」を支える事業基盤を強化
	・ <b>地域別モデル革新</b> の加速と同時に、独自施策を継続推進
短期的	・LD中も生産・供給網を駆使し <b>確実短納期堅守</b> に尽力
	・コストアップの影響受けるも、 <b>収益管理徹底・高収益性維持</b>

## 22年度上期 決算概要

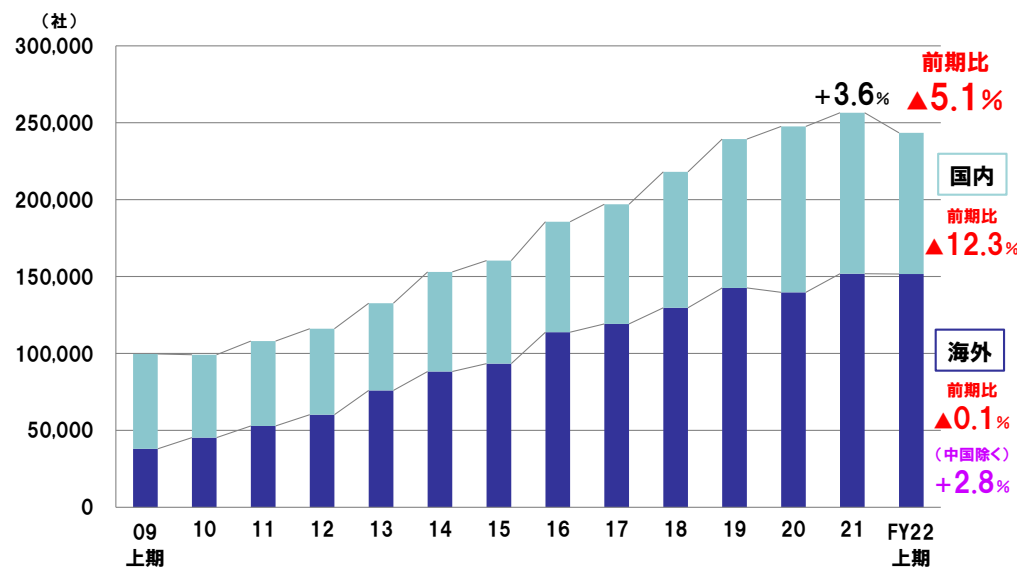
中国LDや部材不足長期化等の影響で日本・中国の需要減速  
 売上・利益ともに市況による影響大も、為替効果で前年増収

項目	FY21上期		FY22上期		
	実績	期初計画 (5/6)	実績	増減率	
				対前年	対計画
売上高	182,238	190,900	188,158	+3.2%	▲1.4%
営業利益	28,494	28,500	26,898	▲5.6%	▲5.6%
利益率	15.6%	14.9%	14.3%	▲1.3pt	▲0.6pt
経常利益	28,694	28,700	27,527	▲4.1%	▲4.1%
当期利益	20,831	20,900	20,240	▲2.8%	▲3.2%

4

## 顧客数推移(上期)

国内: 昨年度取り組んだ収益改善策の影響で顧客減も想定範囲内  
 海外: LD影響を受けた中国を除き、増加継続



5

## 22年度上期 事業別売上高

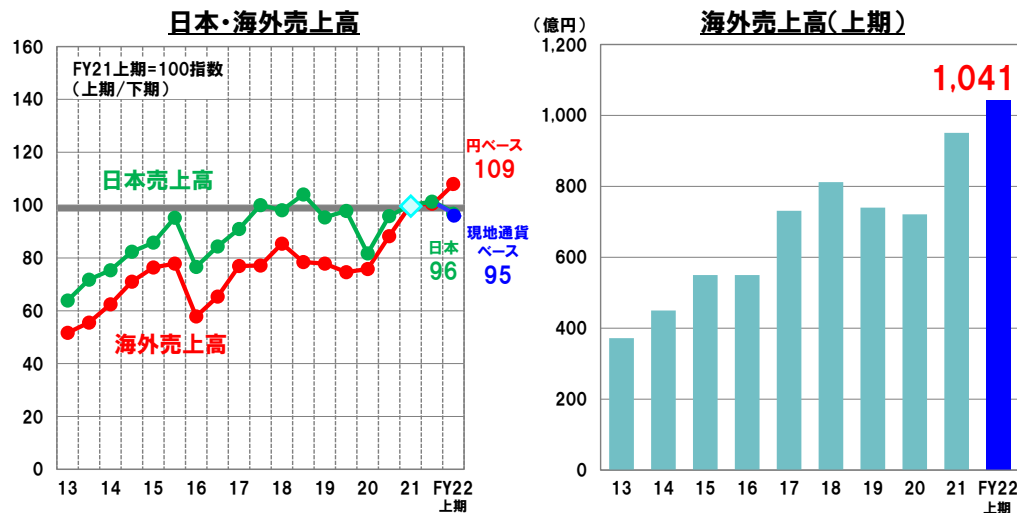
全事業とも需要減速の影響を受けるも、為替効果により増収確保  
 FA・VONA 亜・欧・米成長も、需要減速の日・中をカバーできず  
 金型部品 自動車関連の投資や稼働低下で日・中・亜弱含み

項目	FY21上期		FY22上期	
	実績	実績	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	182,238	188,158	+3.2%	▲4.1%
FA事業	59,073	61,415	+4.0%	▲3.2%
金型部品事業	37,515	39,900	+6.4%	▲5.1%
VONA事業	85,649	86,842	+1.4%	▲4.2%

6

## 22年度上期 日本・海外売上高

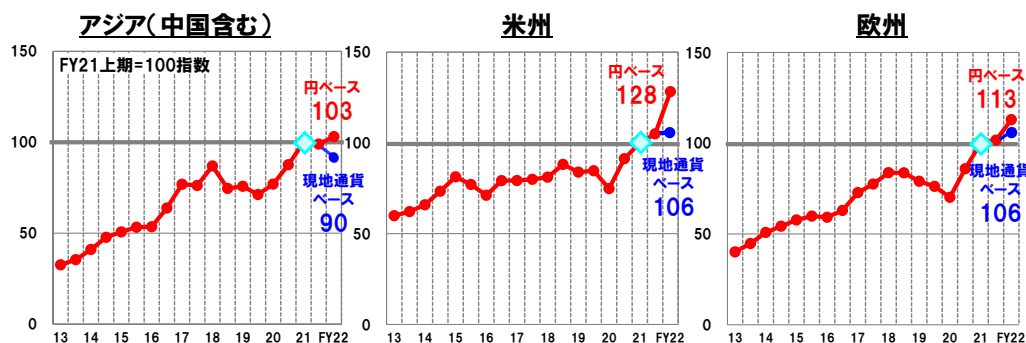
日本 自動車関連をはじめ中国LD影響から回復遅れ、低調に推移  
 海外 中国はLD・電力制限影響で減速も、その他地域は堅調  
 結果、海外比率は55.3%、前年比+3.1pt



7

## 22年度上期 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中国を除く亜では2次電池・半導体が牽引し成長継続  
米・欧 旺盛なEV関連の新規需要を獲得、物流・医療も堅調



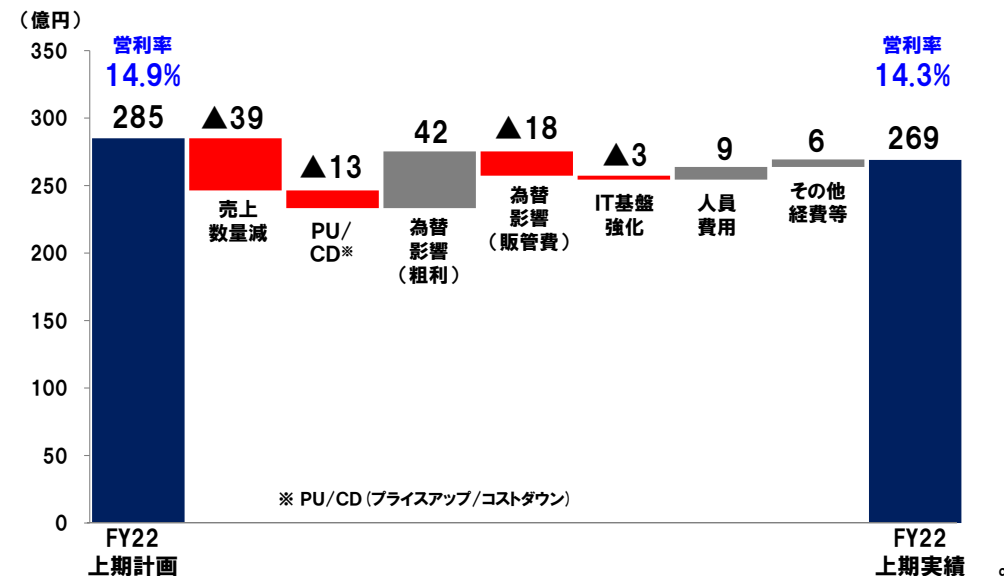
中国 99(85)  
アジア 109(98)  
( )内は現地通貨ベース

為替レート(対円)	FY21上期 実績	FY22上期 実績
USドル	110.2円	133.5円
ユーロ	131.0円	138.8円
人民元	17.0円	19.8円

8

## 22年度上期 営業利益増減分析(計画比)

中国LD影響を受けた売上数量減の影響大、CU影響も一部受ける  
為替効果・経費抑制で増益図るも計画未達、収益性は一定水準堅守



※ PU/CD (プライスアップ/コストダウン)

9

## 22年度上期 事業別営業利益

FA・VONA 日・中売上比高く、LDによる数量減が利益に大きく影響  
金型部品 自動車関連のウエイト大きく、需要減により稼働低下

項目	FY21上期		FY22上期			
	実績	利益率	実績	利益率	対前年増減率	
					円ベース	現地通貨ベース
合計	28,494	15.6%	26,898	14.3%	▲5.6%	▲22.1%
FA事業	12,796	21.7%	12,241	19.9%	▲4.3%	▲19.5%
金型部品事業	5,091	13.6%	4,732	11.9%	▲7.1%	▲21.8%
VONA事業	10,606	12.4%	9,924	11.4%	▲6.4%	▲25.4%

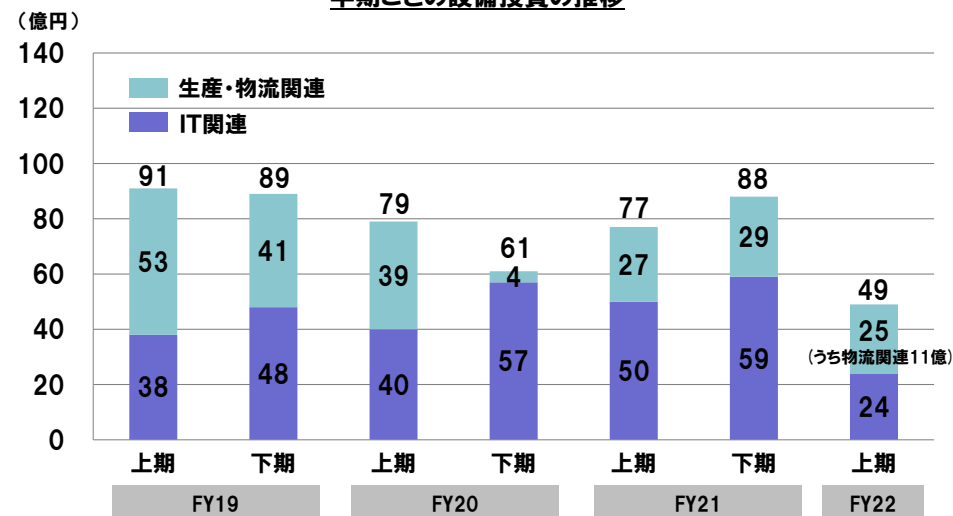
百万円

10

## 投資実績

ビジネスモデル革新に向けたIT基盤強化は積極的に展開  
中国LD影響により、新物流拠点関連をはじめ一部の投資が遅延

半期ごとの設備投資の推移



(うち物流関連11億)

11

## 22年度通期連結業績見通し

為替レート(対円)	FY21 実績	FY22 下期計画	FY22 通期計画
USドル	112.9円	141.0円	136.9円
ユーロ	131.0円	141.0円	139.8円
人民元	17.6円	20.0円	19.9円

12

## 22年度 今後の見立て

中長期的にインダストリアル・オートメーション産業における自動化需要の基調は不変も、**足元では不透明性が進行**

- ・ エネルギー・原材料等**インフレ**、**為替変動**による影響
- ・ グローバルでの**景気後退**リスク
- ・ 部材不足・部品調達難の**長期化**

当社は

- ・ ビジネス環境の不確実性に備え、「**攻め**」と「**守り**」の均衡を徹底
- ・ 成長性・収益性の高い地域/事業/サービスへの**集中を継続**
- ・ 事業基盤強化を継続し、「**確実短納期**」の磨き込みに注力

13

## 22年度 通期業績見通し

不透明性あるも独自施策・為替効果を考慮し、通期計画据え置き  
昨年度取り組んだ収益改善が奏功し前年同水準の収益性を見込む

項目	百万円			
	FY21 実績	FY22 計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	366,160	403,500	+10.2%	+3.0%
営業利益	52,210	57,300	+9.7%	▲8.1%
利益率	14.3%	14.2%	▲0.1pt	▲1.5pt
経常利益	52,500	57,600	+9.7%	-
当期利益	37,557	42,000	+11.8%	-

14

## 22年度 事業別売上高見通し

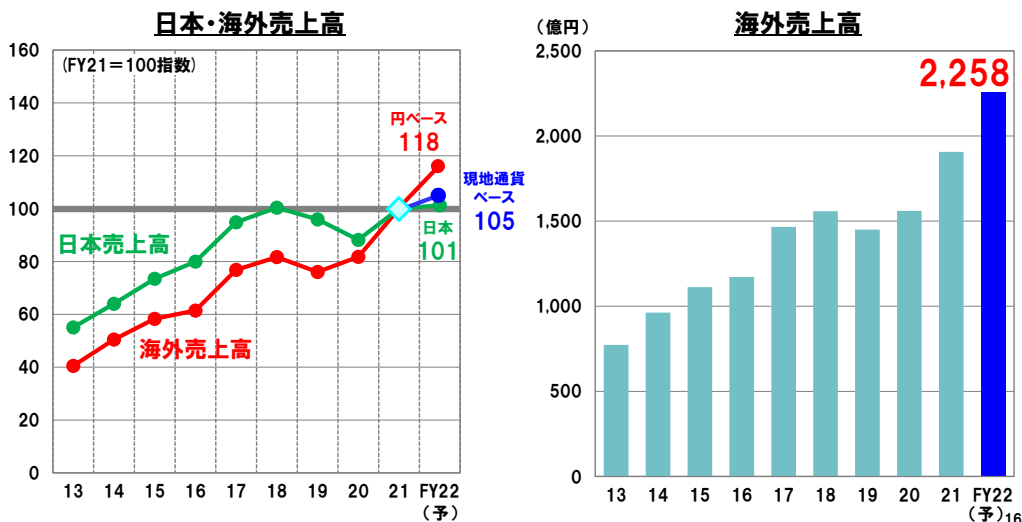
FA・VONA 品揃え・在庫の強化およびmeviy展開加速により成長  
金型部品 EV需要堅調も自動車の稼働回復が本格的に至らず

項目	百万円			
	FY21 実績	FY22 計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	366,160	403,500	+10.2%	+3.0%
FA事業	119,253	135,495	+13.6%	+6.5%
金型部品事業	75,108	83,739	+11.5%	+0.2%
VONA事業	171,799	184,266	+7.3%	+1.8%

15

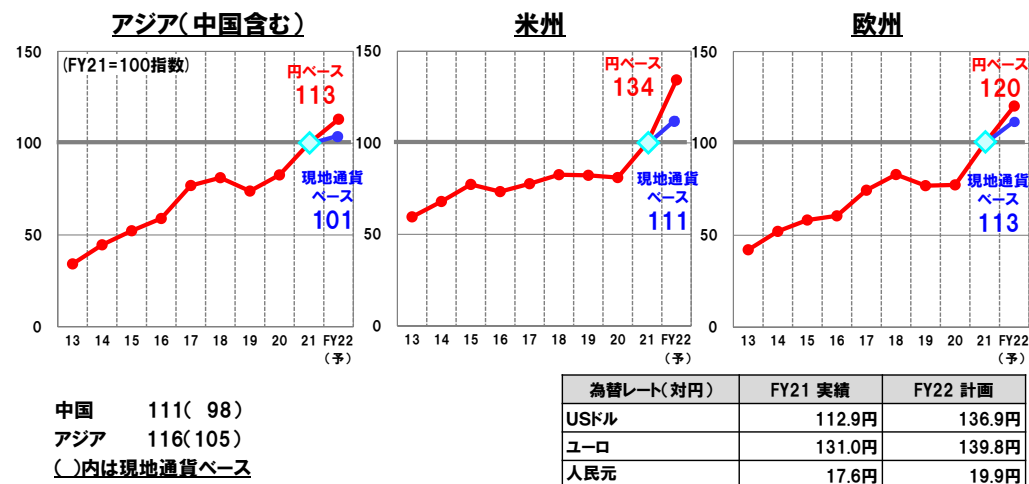
## 22年度 日本・海外売上高

日本 自動車関連をはじめ需要回復が弱く前年並み  
 海外 米・欧は日・中・亜と比べ、相対的に堅調  
 結果、海外比率は56.0%、前年比+3.9pt



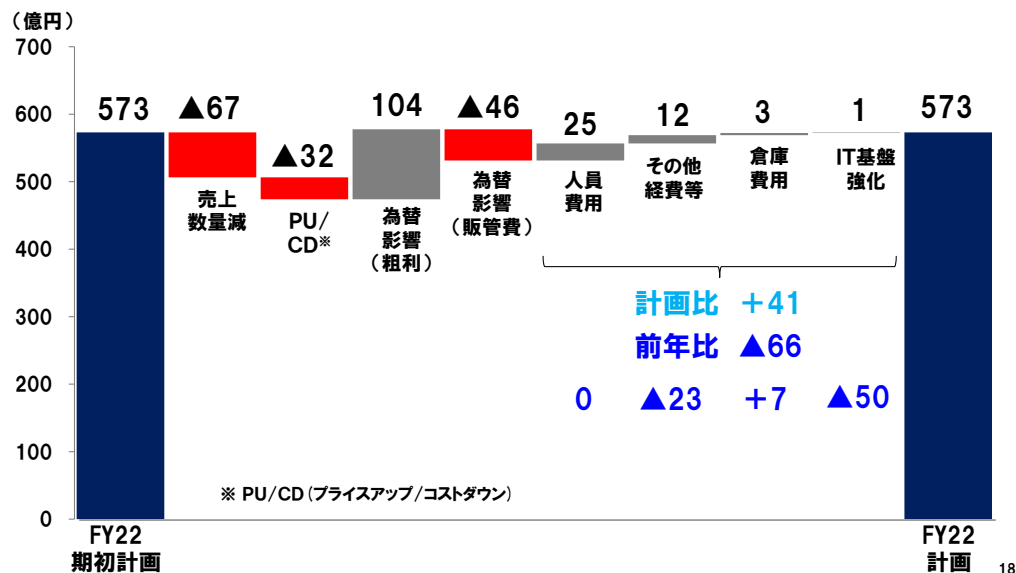
## 22年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中:「攻め」継続も市況回復途上 亜:量産工場攻略で成長  
 米・欧 EVを軸に拡大する需要獲得+物流・医療等への浸透継続



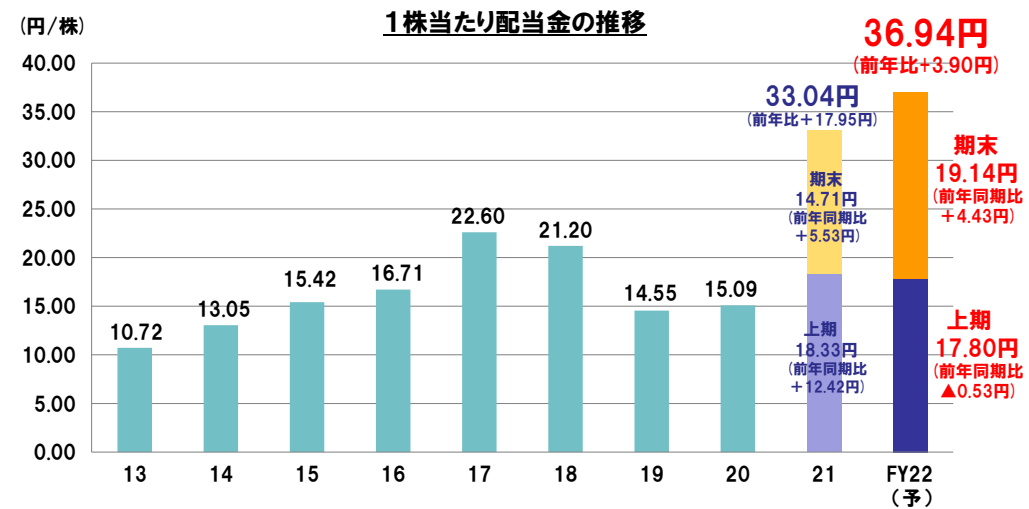
## 22年度 営業利益増減分析(計画比)

上期比で原材料などのコスト増を見込むも、費用抑制でカバー  
 販管費は計画比抑制も、モデル革新の加速費用は従来通り織り込む



## 株主還元

22年度上期配当は17.80円で前年同期比0.53円減  
 年間配当は36.94円、前年比3.90円増、過去最高更新を見込む



※2015年7月1日をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、配当金についても週及調整しております。

# まとめ

## 持続的成長に向け、強靱な経営体質維持＋地域モデル革新加速

